

—スポーツを支える力の強化に向けた活動実績—

<スポーツボランティアの活動>

■スポーツボランティアの育成

- ・ **ボランティアリーダーの研修会の開催**（主催：仙台プロスポーツネット）
恒常的に活動する在仙プロスポーツ球団のリーダークラスのボランティアを対象に、相互の情報交換とコミュニケーション向上を図ることなどを目的に実施。
- ・ **中高生のスポーツボランティア養成講座の開催**（主催：市民スポーツボランティア SV2004）
中高生を対象とした、講義と地元プロスポーツチームの試合やイベントでのボランティア活動体験からなる講座を開講し、東京オリンピック等へ向けた人材を育成。
※ 文部科学省委託事業「スポーツにおけるボランティア活動活性化のための調査研究」トライアル事業として実施

■スポーツボランティアネットワークの構築

- ・ **スポーツボランティアマッチング企画**（主催：市民スポーツボランティア SV2004）
仙台・宮城のボランティア団体がボランティアに興味のある方向けに様々な活動を紹介。
〔参加ボランティア団体〕 スペシャルオリックス日本・宮城 / ベガルタ仙台ボランティア
楽天イーグルスボランティア / 仙台 89ERS ボランティア
グランディ・21 ボランティア / 市民スポーツボランティア S V 2004

- ・ **東北スポーツボランティア・サミット**（主催：市民スポーツボランティア SV2004）

地域・種目を越えたボランティアの交流を図るため、東北を中心にボランティア 93 名のもと参加各団体の活動やおもてなし事例を紹介。



東北スポーツボランティア・サミットの様子

■プロスポーツのホームゲームサポート

仙台のプロスポーツの試合やイベントのスタッフの一員として、場内の誘導、エコステーションの運営、総合案内といった様々なサポートを実施。

- ・ **ベガルタ仙台ボランティアクラブ**（毎年 3 月～11 月、ユアテックスタジアム仙台 他）
- ・ **楽天イーグルスボランティア**（毎年 3 月～10 月、コボスタ宮城）
- ・ **仙台 89ERS ボランティア**（毎年 10 月～5 月、ゼビオアリーナ仙台、仙台市体育館、青葉体育館 他）
- ・ **仙台ベルフィーユボランティア**（毎年 10 月～2 月、ゼビオアリーナ仙台、富谷スポーツセンター、宮城野体育館 他）

■スポーツイベント等への派遣協力

仙台で行われるスポーツイベント等へボランティアを派遣し、運営に協力。

- ・ **仙台国際ハーフマラソン大会**（平成 26 年 5 月 11 日（日））
- ・ **羽生結弦選手「金メダルおめでとう」パレード**（平成 26 年 4 月 26 日（土））
- ・ **楽天イーグルス優勝パレード**（平成 25 年 11 月 24 日（日））
- ・ **日本スポーツマネジメント学会**（平成 24 年 12 月 8 日（土））
- ・ **ジャパンカップ国際女子ソフトボール大会**（平成 21 年 7 月 31 日（金）～8 月 2 日（日））
- ・ **女子ソフトボール北京オリンピック代表壮行試合**（平成 20 年 7 月 25 日（金）～27 日（日））
- ・ **FIBA 男子バスケットボール世界選手権**（平成 18 年 8 月 19 日（土）～24 日（木））

—スポーツを支える力の強化に向けた活動実績—

<地元企業等との協働による支援>

■ 仙台国際ハーフマラソン大会

仙台市、仙台市スポーツ振興事業団、宮城陸上競技協会、仙台市陸上競技協会、みやぎ障害者陸上競技協会、河北新報社、東北放送の主催のもと、多くの地元企業や大学から後援やボランティアの派遣の協力をいただき、大会を運営。

■ HI！ベガルタ応援事業

泉5大学（宮城大学、東北学院大学、仙台白百合女子大学、東北生活文化大学、聖和学園短期大学）が、仙台市泉区をホームタウンとするベガルタ仙台と協働で、サッカーを中心としたスポーツ振興の拡大と泉中央地区のにぎわい創出と地域活性化のため、ホームでの試合開催日に様々なサポート事業を企画。

■ 長町スポーツスペシャル DAY'S

平成26年1月11日～13日の3日間、ゼビオアリーナ仙台と地元商店街が中心となり、仙台89ERSと仙台ベルフィーユの公式戦の同日・同会場開催の盛り上げを図るため、商店街回遊企画など、地域が試合と連動するイベントを実施。

<トップアスリートとの触れ合い>

■ JPFA チャリティーサッカー「ふれあい活動“グリーティング DAY”」

被災地が元の姿を取り戻すことに少しでも貢献し、被災地の声や状況を日本全国の皆様に発信していくため日本サッカー協会とJリーグの主催、日本プロサッカー選手会と仙台市の共催で「サッカーの力で日本を元気に!」を合言葉に開催。親善試合の他、被災3県の施設を訪問し、子供たちとサッカーを通じた交流を図っている。

■ 全日本実業団女子駅伝「ハートフルプロジェクト～ふれあい陸上教室～」

県内の中学生を対象に、ランニング教室を実施。

平成26年度大会では、北京オリンピックの銅メダリストである高平慎士選手、塚原直貴選手や地元出身で実業団の陸上競技部で活躍する堀籠佳宏選手が講師として参加。

■ バレーボールフェスタ 2014

バレーボール女子Vチャレンジリーグに所属する「仙台ベルフィーユ」が、バレーボールの楽しさを伝えるとともに、競技力の向上を図るため、高校生を対象にバレーボール教室を実施。

■ 仙台市アスリート活用事業

自らの豊かな経験と卓越した技術を兼ね備えたアスリートによる授業支援を通して、子どもたちの運動意欲を喚起し、進んで運動やスポーツに取り組む姿勢を育むとともに、体育授業の指導方法について、教員の研修を深めるための事業。

体操元オリンピック代表選手や、100mハードルの元日本記録保持者、近年ではバレーボール女子Vチャレンジリーグに所属する仙台ベルフィーユによる学校訪問も実施。



(講師)
アトランタオリンピック体操日本代表
田中 光 氏